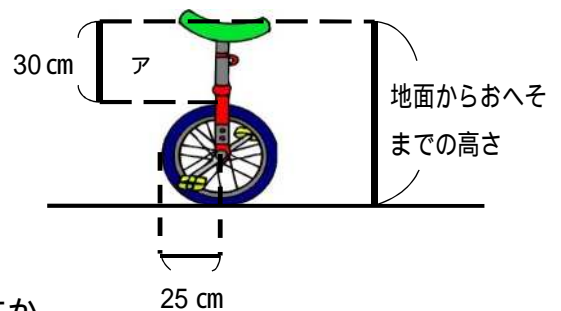


【小学校算数 活用問題 小5 - 6】 正答例
 (単元評価問題関連：小3 - , 小4 - , 小5 - ,)

「一輪車」	()組	氏
	()番	名

つばささんは、5年生になって一輪車クラブに入りました。

- (1) つばささんは、一輪車の高さを調節しています。
 一輪車のちょうどよい高さは、地面からおへそのところまでと言われています。サドルの高さを調節すると、右の図のアの長さが30cmになりました。
 一輪車のタイヤの半径は25cmです。



地面からつばささんのおへそまでの高さは何cmですか。

式	$30 + 25 \times 2 = 80$	答え	80	cm
---	-------------------------	----	----	----

アの高さと車輪の直径を合わせた長さになります。

- (2) つばささんは、タイヤを1回転させるごとに、1輪車がどのくらい進むかを知りたいと思い、一輪車のタイヤの回転数と進んだ長さを調べて、下の表にまとめました。

一輪車のタイヤの回転数と進んだ長さ

タイヤの回転数(回転)	1	2	3	4
進んだ長さ(cm)	157	314	471	628



つばささんは、この表を見て、進んだ長さはタイヤの回転数に比例することに気づきました。このことを使って、一輪車で運動場のトラック1周の長さを求めることにしました。

トラックを1周すると、タイヤはちょうど140回転しました。

トラック1周の長さを求める式を、次の から までの中から1つ選び、その番号を書きましょう。また、選んだわけも書きましょう。

140×3.14	140×157
157×140	157×3.14

番号	わけ
	表を見ると、「進んだ長さ」は、「タイヤの回転数」に比例している。タイヤは1回転で157cm進むので、140回転したときの式は、「 157×140 」となる。

(3) つばささんは、一輪車クラブの中でどの学年が一番一輪車に乗れるかを調べてみようと思い、下のような表をまとめました。

一輪車に乗れる人調べ（学年別）

（人）

	乗れる	乗れない	合計
4年生	7	5	12
5年生	12	9	21
6年生	9	6	15

上の表を見て、つばささんは次のように言いました。

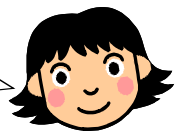


乗れる人数は、5年生が12人で一番多いから、5年生が一番だと思う。

つばささん

すると、この話を聞いていた、みさきさんが次のように言いました。

でも、合計の人数はそれぞれの学年でちがうよ。だから、乗れる人数だけで比べるのではなくて、この前勉強した割合で比べてみた方がいいと思うよ。



みさきさん

それぞれの学年で、合計の人数をもとにした乗れる人の人数の割合を比べます。どの学年が一番、一輪車に乗れる人の割合が大きいですか。

次の から までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や式を使って書きましょう。

4年生が一番乗れる人数の割合が大きい。
 5年生が一番乗れる人数の割合が大きい。
 6年生が一番乗れる人数の割合が大きい。
 どの学年も乗れる人数の割合は同じ。

割合 = 比べる量 ÷ もとにする量

番号	わけ
	4年生の乗れる人数の割合は、 $7 \div 12 = 0.58\dots$ 5年生の乗れる人数の割合は、 $12 \div 21 = 0.57\dots$ 6年生の乗れる人数の割合は、 $9 \div 15 = 0.6$ だから、6年生の乗れる人数の割合が一番大きい。